

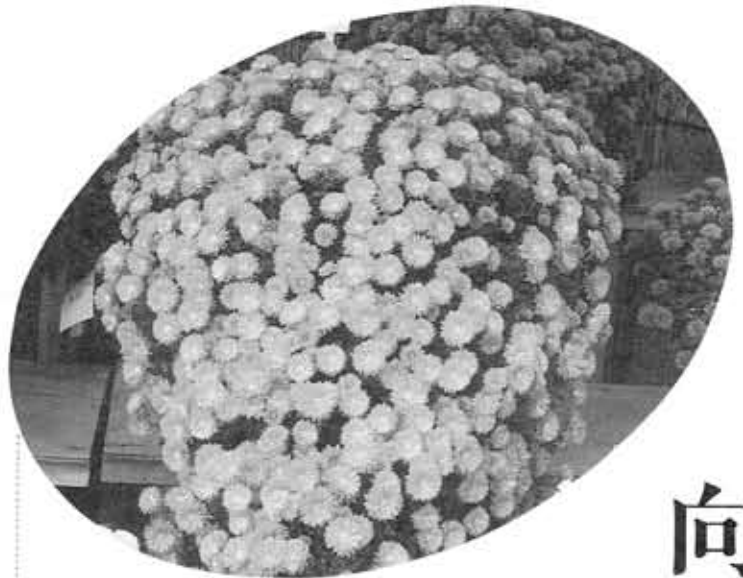
- ◎向日市民憲章◎
- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
 - 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
 - 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
 - 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
 - 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

広報 向日市

No.526

平成4年(1992年)5月15日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111



秋には見事な懸がい菊が私たちの目を楽しませてくれます。

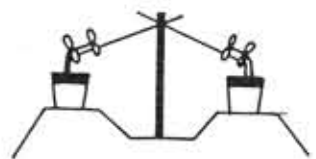



向日市特産の懸がい菊づくり

秋の出荷に向けて菊苗の誘引作業

懸がい菊づくりの盛んな森本・鶏冠井地区では、整然と並べられた数千個の鉢一つひとつに、菊の苗を竹の支柱に針金でとめていく、誘引作業が行われています。約七〇年の伝統をもつ向日市特産の懸がい菊の栽培は「畦立て栽培」といわれる方式で行われており、向日市は全国でも数少ない懸がい菊の産地で、近畿地方唯一といわれています。色とりどりの花のじゅうたんのような美しい懸がい菊に育つまで、この後も丹精を込めた手入れが続けられます。

皆さんも、ご家庭で一度懸がい菊づくりにチャレンジされてはいかがですか。

▼ 懸がい菊畦立て栽培の概要

<p>① 6寸鉢に定植して畦の上に置き約45°の支柱に誘引します(4月下旬~5月中旬)</p> 	<p>② 第1回目のピンチ作業(芽を摘む作業)を和裁バサミなどで行います。</p> <p>ピンチは1~2芽(葉)残します。</p> <p>先頭のピンチは、上方向芽を残さず、下方向芽でピンチします。</p> 
<p>③ 2回~3回ピンチの後、最終ピンチは8月下旬~9月上旬に行います。</p> <p>株元からの芽は除去します。</p> 	<p>④ 竹先を下げ、最終ピンチ後、つぼみが揃ったら根を切ります。非常にしおれるので毎日かん水をする必要があります。その後、6寸から7寸鉢に鉢上げを行います。</p> 

5月30日はゴミゼロデー

5月30日は環境美化行動の日です。ゴミを減らして快適な環境を守るため私たち一人ひとりがゴミや資源について考えてみましょう。

お問い合わせ 衛生課(内線227)

<p>空き缶のリサイクルを進めよう</p> <p>空き缶もリサイクルすれば、立派な資源なんだよね。</p> <p>原料からつくるより少ないエネルギーでつくられるね。近頃は、アルミと鉄を分別しやすく、リサイクルマークがついている缶が多くなったよ。</p> 	<p>過剰包装は断ろう</p> 	<p>古紙の回収に努めよう</p> <p>家庭では新聞や雑誌、牛乳パックなどね。</p> <p>学校や会社では、OA紙の回収に力を入れているんだ。</p> 
--	---	---